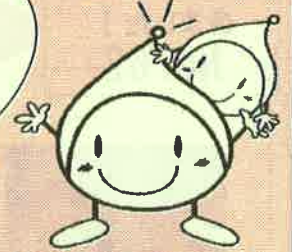


# ささえ

みんなが  
寄付をすると、  
まちがよくなるん  
だって!



エールとミニおぼやん

奇数月発行

## 寄付は人や地域への



## 私たちからのエール(応援)



東日本大震災から2年がたちます。思い出してください。

いまなお、苦しんでいる被災された方々のことを。

寄付には、私たちが住む町をもっと住みやすくしたり、困っている人を助ける力があります。大きなお金を寄付するだけが寄付ではありません。日常的に主体的に寄付をする「寄付文化」が広まれば、もっと豊かで思いやりのある社会になります。身近にある寄付をみつけてみませんか。

### ◆寄付にも色々な方法があります

#### お金を寄付する



たとえば

- 日本赤十字社 山口県支部  
TEL 083-922-0102
- 赤い羽根の社会福祉法人山口県共同募金会  
TEL 083-922-2803
- 国境なき医師団日本  
TEL 0120-999-199
- 応援したい団体や施設に直接寄付を送る、など

#### 気に入ったものを買って寄付する

もっと気軽に  
寄付をしまし  
ょう!



たとえば

- ◆食事をしたら、食事代から寄付が払われる。
- ◆お菓子を買ったら、1個につき寄付が払われる。  
または、購入料金の1%が寄付として払われる。
- ◆保険に契約すると、保険会社から寄付が払われる。
- ◆NPOが企業と協働して作ったボールペンを購入するとそのグループに寄付が入る、など。

詳しくは、社会福祉法人岩国市社会福祉協議会  
募金百貨店 <http://www.iwasha.jp/bokin/bokinhyakkaten.html>

### 市民活動団体(ボランティアグループ)への寄付に興味がある方は

いわくに市民活動支援センターにお越しく下さい。今年度は、91団体の市民活動団体が登録して、「みんなのためになる」活動を行っています。「福祉」、「まちづくり」、「文化・芸術」、「社会教育」、「環境」、「子どもの健全育成」など様々な分野で、地道に頑張っている活動しています。応援したくなる団体が、きっとあるはずですよ。みなさんからの寄付のエールで、岩国市の市民活動団体を元気にして、岩国市を「心ゆたかに暮らせるまち」にしましょう!



代表の川島さんと大輝君

あさひ保育園の子育てステーションに、若いお母さんと赤ちゃんが集まってきました。「ふれ愛サークル」の始まりです。メニューは「ベビーマッサージ」、「離乳食講座」、「ママランチ」と充実した内容です。

「ふれ愛サークル」は平成23年に設立されました。メンバー5人の中には、ベビーマッサージセラピスト、管理栄養士、保育士などスペシャリストがいます。代表の川島里香さんは、ベビーマッサージセラピストで保育士でもあります。転勤族で岩国に住み始めて4年になります。10歳、7歳、3歳、そして生後1ヶ月の赤ちゃんのお母さんです。

川島さんは、3年前に運命的な出会いをしました。テレビを見ていて「ベビーマッサージ」という言葉に出会ったのです。すぐネットで検索。そして、岩国にはベビーマッサージの資格を持った人がいないこと、広島でその資格が取れることを知りました。1ヵ月後には当時生後8ヶ月だった3番目のお子さんを連れて、広島へ受講に行っていたそうです。資格を取れば、家で仕事ができること、子連れて仕事ができることが魅力でした。また、友だち作りに役立つと思いました。

メンバーの松永敦子さんは、6歳と4歳のお子さんのお母さんで、管理栄養士の資格を持っています。やはり転勤族で、6年前に岩国に来ました。川島さんとは子どもの幼稚園で出会いました。

お母さんたちの中には、色々な資格を持っていても役にたてられない悩みを持つ人が多いそうです。ベビーマッサージセラピストと管理栄養士が出会い、川島さんはひらめきました！子連れで出かけるところがなかなかない岩国で、赤ちゃんを連れてベビーマッサージや離乳食講座が受けられて、お母さんもお飯が食べられる「場」が作れたらどんなに楽しいでしょう。そして、すぐさま行動を起こしました。あさひ保育園にお願いすると、快く台所のある子育てステーションを貸してくださいました。今では、愛宕供用会館も借りて、どちらも月2回開催しています。大変人気が高く、すぐ定員になってしまうそうです。



みんなでベビーマッサージ



ベビーマッサージは気持ちいいね

「♪だいちゃん、だいちゃん、だいちゃんのお胸のマッサージ♪」

歌いながら、ベビーマッサージの始まりです。

当日は7組の親子が参加。胸、手、指、足、背中とやさしくマッサージしていきます。どの子も気持ちよさそうです。川島さんは、生後1ヶ月の大輝くんをマッサージしてお手本を見せます。マッサージが終わると、大輝くんは小さなお口を開けて眠ってしまいました。「ベビーマッサージをすると寝てくれるんですよ。そして、マッサージをすると発達が早くなるようです」と川島さん。

マッサージが終わる頃、台所からいいにおいがしてきました。管理栄養士の松永さんが、台所で忙しそうに調理をしています。離乳食講座は、大人のメニューから取り分けできる離乳食を月齢別に作りアドバイスします。申し込み時に、月齢とアレルギーの確認をしているので、赤ちゃんたちは、月齢にあったお昼ご飯がとれます。

この日の大人の献立は「鮭と豆腐の甘酢あんかけ、鉄分たっぷり三色中華サラダ、生姜スープ」レシピもちゃんと用意してあります。ここでしっかり栄養を取ってもらうことも目的の一つです。「離乳食を食べなかった赤ちゃんが、ここで食べられるようになり、食事のリズムができてお母さんの悩みが解決したこともありました。」と松永さん。そのお腹には、新しい命が宿っています。



管理栄養士の  
松永さん

お母さんの  
ランチメニュー



● お問い合わせ ●

ふれ愛サークル

代表 川島 里香さん

電話 090-7896-7236

4月以降

代表 松永 敦子さん

電話 090-8282-9229

参加したお母さんは、「同じくらいの赤ちゃんがいるのでいいですね。いろいろな情報を教えてもらって、子どもも私もお友だちができました。おもちゃもあって子どもは喜んで遊んでくれるので、私は息抜きができます」と話してくれました。

「ふれ愛サークル」は、孤立してしまいがちな母と子に、楽しくて、悩みを話せる貴重な「場」を提供し、育児の合間ほっとできる時間を提供してくれています。「赤ちゃんにたくさん会えて、私も癒されます」と川島さん。川島さん、松永さんを見ていると、子育てってそんなに気負わなくてもいいんだと思ってしまう。そして、母は強い！  
(担当 岸)



## 市民活動団体のイベント情報

センターまでお気軽にお問い合わせ、お申し込みください。連絡先は裏面です。

地域福祉推進講演会

### 寄付でつくる市民のまち

～これからの支え合いのカタチ～



2011年3月の東日本大震災以来、全国に寄付の機運が盛り上がりました。寄付を通じた社会貢献が、地域の支え合いやまちづくりを変え始めています。テレビでおなじみの堀田力さんが、笑いあり涙ありの感動的なお話をしてくださいます。

講師：堀田 力さん（弁護士、さわやか福祉財団理事長）

- と き 平成25年3月13日（水）13：00～14：30
- 場 所 岩国市民会館 大ホール
- 参加費 無料
- 問合せ 岩国市社会課 TEL 0827-29-5072

平成24年度 第2回岩国市消費生活セミナー

### いま知っておきたいお金の話

～保険の見直し3つのキーワードと4大リスクの対処法～

- 講 師 中村 久枝さん（山口県金融アドバイザー・消費生活相談員）
- と き 平成25年3月19日（火）13：30～15：00
- 場 所 岩国市民会館
- 参加費 無料
- 問合せ 岩国市市民協働推進課 TEL 0827-29-5017
- 定 員 40名（先着順）※事前に受講申し込みしてください。
- 持参品 筆記用具



## 市民活動カフェ 2013 報告

### 「市民活動カフェ 2013」市民カパワーで大盛況！



沖縄市民活動支援センターの方、来所。「市民活動団体が自主的に参加されていて、感激しました。」

「市民活動カフェ2013」が平成25年2月3日（日）開催され、37団体、1400人の市民でにぎわいました。市民は参加団体のブースでクイズに答えたり、各団体の活動紹介や手話、要約筆記、点訳、車イスの補助の方法などの活動を体験して、シールを20枚集め、抽選会に参加しました。スタンプラリーを実施したことで、いろいろな市民活動団体のことを身近に知ることができました。

大ホールでは、協働事例の紹介や天尾小学校児童とYMCAの学生さんによる朗読劇「二鹿伝説」の発表など、多様な団体が連携し、スキルを交換しながら、今年のテーマである「市民力をつなぐ」を実践しました。多くの方が市民力の向上を実感されたことと思います。

また、YMCAの学生さんや、ボランティア希望の方が8名参加していただき、収集ボランティアコーナーや参加団体のお手伝いをしていただきました。その他、血圧測定、3B体操、ストリートダンスの体験やおもちゃの交換、絵本の読み聞かせなど多くの市民が参加し、特に、おもちゃ交換ひろばは、市民のみなさんからのたくさんのおもちゃの寄付のおかげで、大盛況でした。ありがとうございました。

みんなで作り上げた「市民活動カフェ2013」でした。



## 助成金ニュース

①内容、対象②助成金額、件数③締切④問合せ先  
\*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

### 公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団助成

① 伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能及び行事など、日本の無形の伝統文化財の記録や研究、保存・伝承活動において、有効な成果が期待できる事業に対し補助的な援助を行う、個人・団体 ② 1件あたり、30万円から200万円程度の金額を助成 ③ 3月31日(日) ④ 公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団  
TEL 03-5795-1279、FAX 03-3280-2830

### 一般財団法人愛山青少年活動推進財団 平成25年度青少年健全育成事業の助成

①〇心身共にたくましい青少年を育成するための活動 〇山口県に関わる先賢の顕彰、歴史の伝承普及のための活動 ② 総経費3分の1以内、10万円以内 ③ 4月26日(金) ④ (一財)愛山青少年活動推進財団事務局  
TEL083-932-2660、FAX 083-932-2659

### さいきょうS1グランプリ2013

① ソーシャルビジネスの手法により地域課題の解決に向けた取組みを行っていくための仕組みやアイデア「事業プラン提案書」として提出していただきます。 ② 最優秀プランに賞金30万円、該当事業プランに必要な経営支援③ 4月30日(火) ④ (株)西京銀行地域連携部 さいきょうS1グランプリ2013  
TEL0834-22-7665



## 岩国のへえ〜 53の巻

ヘレンケラーが岩国空港から来日していた!



「奇跡の人」の映画等で有名なヘレン・ケラー(1880年~1968年)は、自ら重い障害を背負いながらも、世界各地を歴訪し、身体障害者の教育・福祉に尽くしました。各国を周る中で、日本にも昭和12年、昭和23年、昭和30年と3回訪れています。その内2度目の訪日は、昭和23年8月29日マッカーサーの招聘で岩国空港に到着しました。日本各地で講演を行う出発点として、岩国に降り立ったのです。

当日は、川下小学校の女生徒の花束を受けるなどの歓迎を受け、岩国で約8時間休憩・晩餐会等した後、岩国駅午後1時2分の特別列車で東京に向かいました。

出発の際はホームを埋める市民等に見送られました。岩国での滞在時間は短かったものの、彼女は優しい微笑みを最後まで絶やすことなく過ごしたそうです。

ヘレン・ケラーの講演活動は、日本の「盲人福祉の制定」に貢献したと言われています。



## 編集後記

もうすぐ新しい年度を迎えます。県内でも認定NPO法人が誕生するなど、市民活動に対する考え方も変化しています。

ここ岩国でも、今年度は、「協働」を進める上で、各市民活動団体が行政や企業、他団体と連携し、様々な事業をしっかりとこなし、その成果がでています。

来年度はグローバルな「繋がり」を求めて、さらなる各団体の連携を強化できたらいいと思います。

支援センターも非営利活動に賛同・参加する人々に、活動のヒントや知識を得る情報の場としてご利用していただけるよう頑張ります。また、様々な人が出入りし、みんなが関わられるようなセンターになればと願っています。(柳原)

### 支援センター利用状況(1、2月)

・印刷、コピー	173件
・相談	18件
・登録団体数	91団体(のべ数)

### 発行: いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15  
(岩国市中央公民館3階)  
TEL 0827-44-0288 FAX 0827-44-0324  
E-mail:shien@sky.icn-tv.ne.jp  
http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~shien/